



平成 16 年 7 月期 第 3 四半期業績概要 (個別)

平成 16 年 5 月 28 日

上 場 会 社 名 日本駐車場開発株式会社
 コード番号 2353
 (URL <http://www.nittyu.co.jp>)

上場取引所 東
 本社所在都道府県 大阪府

代 表 者 役 職 名 代表取締役社長
 氏 名 巽 一久
 問い合わせ先責任者 役 職 名 取締役管理本部長
 氏 名 氏家 太郎

T E L (06) 6227-6777
 単元株制度採用の有無 無

決算取締役会開催日 平成 16 年 5 月 28 日

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

① 会計処理の方法の最近会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2. 平成 16 年 7 月期第 3 四半期の概況 (平成 16 年 2 月 1 日～平成 16 年 4 月 30 日)

(1) 経営成績

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16 年 7 月期 第 3 四半期	693	34.7	126	24.1	125	18.6
15 年 7 月期 第 3 四半期	514	—	102	—	106	—
(参考) 15 年 7 月期	1,967	58.0	360	92.9	356	95.6

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. パーセント表示は、対前年同期比増減率を示す。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期の国内経済は、個人消費や雇用情勢が持ち直し、製造業を中心に設備投資が堅調に推移したことから景況は全般的に回復基調となりました。

当社は、このような状況のもと、平成 16 年 2 月の東京証券取引所への上場による知名度向上を活かし、積極的な営業展開をすることにより、東京駅周辺再開発ビル附置駐車場において直営事業を開始するなど直営物件数を増加させました。また、前期に獲得した大型商業施設併設駐車場、再開発大型ビル附置駐車場やホテル併設駐車場などが順調に立ち上がり、直営事業において 626 百万円の売上高を計上した結果、売上高合計は 693 百万円となりました。

店舗の統廃合を推進する金融機関や遊休資産を抱える企業から受注した既存物件の稼働が堅調に推移するなど営業効率も改善し、営業利益は 126 百万円、売上高営業利益率は 18.3%となりました。営業外費用 (新株発行費 1 百万円等) を計上したことにより、経常利益は 125 百万円となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

当第 3 四半期における財政状況は安定的に推移しており、経営成績に重要な影響を与える事象は特にありません。

3. 平成16年7月期の業績予想（平成15年8月1日～平成16年7月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金	
				期末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭
通 期	2,701	522	292	500 00	500 00

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 1,841 円 34 銭

（注）上記1株当たり予想当期純利益（通期）は平成16年7月20日に実施予定の1対3の株式分割を考慮した期中平均株式数により算出しております。

[業績予想に関する定性的情報等]

通期の業績予想につきましては、本日公表の「平成16年7月期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおりであり、平成16年3月12日に発表しております通期の業績予想を修正しております。

[当社グループの四半期業績の特性]

当社グループの主要事業である直営事業はストック型の事業であり、売上高及び利益は直営物件数の伸びに伴い、概ね期首から期末に向け上昇する傾向があります。従いまして、今期の業績予想におきましても後半期のウェイトが高い業績予想となっております。

[業績予想に関する留意事項]

上記の予想につきましては、本資料作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因によって、上記予想数値と異なる可能性があります。

以上